

2024年度

授業概要

科目名		解剖学実習			授業の種類	実習	講師名		
授業回数	23回	時間数	45時間	(1単位)	配当学年・時期	作業療法士科1年		必修・選択	必修
〔授業の目的・ねらい〕									
作業療法にとって、骨や筋などの運動器の理解は非常に重要になる。身体各部位の運動器についてその構造をしり、それが意味する事や機能を理解し、今後の作業療法学専門領域の学習の基礎を築く。									
〔授業全体の内容の概要〕									
講義に加えて、スケッチや骨標本などを用いたイメージ作り、触診などの実技を随時加えながら行う。									
〔講師の実務経験〕									
〔授業終了時の達成課題（到達目標）〕									
全身の運動器系の名称から構造と機能が具体的にイメージでき、説明が出来る									
回数	講義内容								
1	オリエンテーション 主な骨の名前								
2	骨各論。触診 肩甲骨 上腕骨 鎖骨								
3	骨各論。触診 胸骨 橈骨 尺骨 手の骨								
4	骨各論。触診 大腿骨 脛骨 腓骨								
5	骨各論。触診 骨盤 脊椎 足の骨								
6	骨各論。触診 脊椎 足の骨								
7	骨各論。解剖学クイズ大会								
8	骨各論。触診テスト 夏休み課題→頭蓋骨								
9	筋・関節各論・触診・筋模型作成								
10	筋・関節各論・触診・筋模型作成								
11	筋・関節各論・触診・筋模型作成								
12	筋・関節各論・触診・筋模型作成								
13	筋・関節各論・触診・筋模型作成								
14	筋・関節各論・触診・筋模型作成								
15	筋・関節各論・触診・筋模型作成								
16	筋・関節各論・触診・筋模型作成								
17	筋・関節各論・触診・筋模型作成								
18	筋・関節各論・触診・筋模型作成								
19	筋・関節各論・触診・筋模型作成								
20	筋・関節各論・触診・筋模型作成								
21	筋・関節各論・触診・筋模型作成								
22	筋・関節各論・触診・筋模型作成								
23	まとめ								
	定期筆記試験								

【 準備学習・時間外学習 】

【 使用テキスト 】

書籍名	著者名	出版社
標準理学療法学・作業療法学 解剖学	野村	医学書院
プロメテウス 解剖学コア アトラス	坂井	医学書院

【 単位認定の方法及び基準（試験やレポート評価基準など） 】

履修規定に準じ、試験の結果を100点満点として60点以上の場合に合格とする